

「おもしろ読書事典」活用事例 応募フォーム

1 学校についての情報

① 校名	高梁市立川上小学校	② 電話番号	0866-48-2215
------	-----------	--------	--------------

2 取組状況

取組時期、期間等	平成26年6月、10月、その他年間を通して授業時など
対象範囲	1. 学級 2. 学年 ③. 学校全体 4. その他（具体的に ）
教育課程上の位置付け	①. 教科（国語） 2. 学級活動 3. 児童会活動 ④. 学校行事 5. その他（具体的に ）

3 取組の具体

読書まつりでの活用

川上小学校では年に2回、6月と10月に“読書まつり”を行っている。

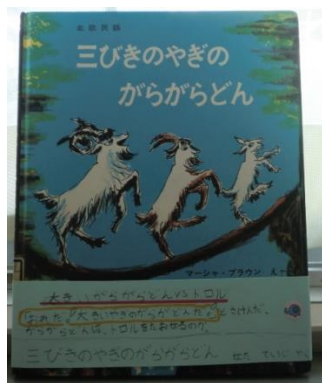
読書まつりでは、各学年が国語や生活科、理科、社会科といった教科や総合的な学習との関連を図り、読んだ本の紹介や学んだこと調べたことを読みきかせやペープサート、劇やクイズなど様々な表現方法で発表する。また、図書委員会が絵本のクイズや読みきかせ、○×クイズなどを行ったり、地域の読みきかせボランティアがペープサートやパネルシアターをしたりし、読書に親しみをもてるようにしている。

読書まつりのそれぞれの発表に必要な本を探したり、紹介する本を選んだりする際に「おもしろ読書辞典」を活用した。ふだん読まない分野の本を知るきっかけになり、読書の幅が広がっていると感じた。

○おすすめの本の帯の作成

5年生がおすすめする本の帯を作成し、展示を行った。

例えば、21ページの「三びきのやぎのがらがらどん」の紹介文を参考に本の帯を作った。「おもしろ読書辞典」に該当の本の掲載がなくても、掲載されている本の紹介文を見せることで紹介文の書き方を学ばせることができた。また、読書辞典には低中高学年向き



と本を分けて紹介しているので、おすすめする本を選ぶときに対象学年に偏りが見られないようにする参考にもなった。

そのようにして作成した帯を付けた本は読書まつり後も校内の共有スペースに展示した。紹介文を読んでどんな本だろうと、進んで手に取る児童も多かった。

○絵本クイズの問題作成

図書委員会が事前に読み聞かせをした絵本についてのクイズを行った。

クイズを作る参考として「おもしろ読書辞典」を活用した。登場人物の行動を尋ねる単純



な問題ばかりでなく、場面の様子や挿絵に注目させるような少しひねったような問題も作ることができた。



○その他

読書まつりで紹介された本の著者の別の作品や、同じ分野の本を学校図書館に展示する際に活用した。例えば、ボランティアの方が「ブレーメンの音楽隊」のペープサートをしてくださったのだが、33ページを参考にグリムの他の作品を展示することができた。

国語の授業での活用

○6年生の国語の授業

宮沢賢治の「やまなし」の単元のまとめとして、宮沢賢治の他の作品の絵本を1年生に読みかかせした。79ページに宮沢賢治の作品が紹介されているので、読みかかせする絵本を選ぶ参考とした。1年生にとっては少し長く難しい作品も多かったが、絵本であるので集中して読み聞かせを聞くことができていた。



図書での活用

図書の時間で、絵本のクイズをする際に参考にしている。

例えば、103ページ掲載の「りんごかもしれない」という絵本を紹介し、その後クイズを行ったのだが、「りんごは最後どうなったのでしょうか」と質問することができた。この「りんごかもしれない」は子どもに人気がある本だったため、似た絵本も紹介したいと考えた。他の不思議な絵本も「おもしろ読書辞典」に紹介されており、「あけるな」や「漂流物」を公立図書館から借りてきて紹介し、読書を促すことができた。

「おもしろ読書辞典」には、動物や宇宙など文学以外の本についても掲載があるので、本を紹介する際に大いに利用させていただいている。お話が好きな子ばかりではないので、本を選び読書に親しむきっかけとして「おもしろ読書辞典」は役立っていると感じる。